

日塗工 整理No. (日塗工記入)		2017-49		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所					
災害発生日時		2017年 4月 5日(水) 10時 50分 天候(晴れ) 温度(- ℃)湿度(- %)			
災害区分		不休災害 <u>休業災害</u> (休業:一日)			
被災者	部門	物流		雇用形態 正社員、派遣、契約、 <u>その他(構内委託)</u>	
	年齢	65 歳	性別: <u>(男)</u> 女	勤続年数 2か月	経験年数 2か月
	傷病名	左足首骨折・右足首ヒビ			
	傷病部位	両足首			
災害発生状況	11時から勤務の被害者が駐車場から物流事務所へ歩行移動しているとき、運送業者がフォークリフトを後進旋回時に被害者と衝突した。衝突後本人が転倒した所に、フォークリフト左側後輪が両足首に乗り上げ負傷した。 フォークリフト運転者(運送業者) 加害者 48才 勤続年数7年			状況概略(写真orイラスト) 	
	災害の型※1) 5. はさまれ、巻き込まれ			作業の形態: <u>定常</u> 、非定常、その他()	
	起因物: フォークリフト			特記事項	
原因分類	1.人的要因(man)				
	左右・後進における目視安全確認が不十分であった。				
	2.物に関する要因(machine)				
	フォークリフト特有の死角に対する危険予知不足				
	3.環境要因(media)				
	通勤歩行ルートが不十分であった。				
対策	4.管理的要因(management)				
	歩行者が作業中のフォークリフト内に近づいてしまった。				
	①フォークリフト作業員へ基本運転操作の徹底を行い、管理者による現場パトロールを実施する。				
	②フォークリフト運転に関連する危険予知意識の再教育を実施する。				
	③通勤歩行ルートの見直し及び標準作成。				
	④構内歩行者への再教育。 (フォークリフトには絶近づかない、止むを得ない場合は、安全確認をした後に近づく等)				
対策分類※2): 1-3リスクアセスメント、1-6教育、2-4危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)